

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名 : 森林の利用・保全を核とした南丹地域整備計画
- 2 整備計画年度 : 平成22年度～平成24年度（3年間）
- 3 事後評価年度 : 平成25年度

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	<p>本計画の実施地区は大半の地区が平成23年度に地域自主戦略交付金に移行したため、これらを関連事業に位置づけし、事後評価を一体的に行うこととします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業 南丹地区 平成24年度に完了しました。 ・ 治山事業 南丹地区 平成24年度に完了しました。 ・ 効果促進事業 南丹地区（治山事業関連） 平成24年度に完了しました。 ・ 漁場保全の森づくり事業（森林整備事業） 南丹地区 平成22年度に完了しました。 ・ 森林環境保全直接支援事業 環境林整備事業 南丹地区 平成24年度に完了しました。 ・ 漁場保全の森づくり事業（保安施設事業） 南丹地区 平成24年度に完了しました。 ・ 効果促進事業 南丹地区（漁場保全の森づくり事業関連） 平成24年度に完了しました。
②事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業 南丹地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 治山事業 南丹地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 効果促進事業 南丹地区（治山事業関連） 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 漁場保全の森づくり事業（森林整備事業） 南丹地区 平成22年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 森林環境保全直接支援事業 環境林整備事業 南丹地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 漁場保全の森づくり事業（保安施設事業） 南丹地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 効果促進事業 南丹地区（漁場保全の森づくり事業関連） 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
③成果目標の目標値の実現状況	<p>① 間伐材の利用 【目標値】 6,000m³（H19～20 平均） → 6,800m³（H22～24 平均） 【実現状況】 6,000m³（H19～20 平均） → 12,000m³（H22～24 平均）</p> <p>②山地災害防止機能が高まった集落数の増加（3カ年） 【目標値】 93集落（H21 時点） → 96集落（H24 時点） 【実現状況】 93集落（H21 時点） → 96集落（H24 時点）</p>
④今後の方針	<p>整備計画年度を平成25年度～平成27年度（3年間）とする新たな計画を樹立し、今後とも間伐等の森林整備及び林道、治山施設等の基盤整備を一体的に実施し、森林の持つ公益的機能が高度に発揮され、淡水漁場、農地及び集落等の保全対象を守る森づくりを目指します。</p>